

【安心・元気・未来創造ビジョン2024（芸術文化分野）における10年後の目指す姿】

- ◆誰もが多彩で質の高い芸術文化に触れ親しむことができ、創作活動に取り組める環境が充実している。
- ◆デジタル技術の活用により、いつでもどこでも気軽に芸術文化を鑑賞できる環境が整っている。
- ◆芸術文化の発展を担う人材育成に向け、こどもたちの豊かな感性や創造力が育まれている。

芸術文化に触れる機会の充実

○総合文化センターでの公演

- ・東京バレエ団による公演や各地の伝統芸能が鑑賞できる大分民俗芸能まつりなど

＜R7年度目標・実績＞

鑑賞系事業来場者数 目標13,200人
実績15,967人

○美術館の企画展

- ・「LINKS」、「きらめく日本美術」や「ジブリ」など多彩なジャンルの展覧会を開催

＜R7年度目標・実績＞

入館者数 目標515,000人
実績823,536人過去最高



【課題・論点等】

- ・新たなファン層の拡大
- ・企画展の充実

デジタル技術による鑑賞環境

○ウェブサイトによる公開

- ・おおいた美の宝（コンテンツ数221）大分県立美術館の主要コレクションの高精細画像や竹工芸作品を3Dで鑑賞
- ・おおいた文化財ずかん（34点）仏像や土偶等を3Dで鑑賞
- ・旅するれきはく 歴史博物館の熊野摩崖仏や富貴寺大堂を3Dで鑑賞

○音楽祭映像の活用

- ・別府アルゲリッチ音楽祭



【課題・論点等】

- ・コンテンツの活用・充実
- ・新技術の試行・導入

人材育成

○文化キャラバン

- ・芸術文化団体を小・中学校等に派遣し、地域の子どもたちや住民が芸術文化に触れられる機会を創出

＜R7年度実績＞

会場数：29か所 鑑賞者数：4,164名

○伝統文化親子体験アカデミー

- ・親子に向けた鑑賞・体験イベントと連続5回の体験教室を実施
- ・体験してみたい伝統文化として和楽器の希望が多かった

＜R7年度実績＞

体験教室参加 長唄15人・落語11人



鑑賞イベント（長唄）

体験教室（落語）

【課題・論点等】

- ・派遣先の拡大
- ・活動を担う人材の確保